

小中学校のトイレの状況はどうか

質問 人間にとって排せつ行為は重要な営みである。学校のトイレは、学習の場、生活の場である学校にふさわしいものとして、快適な環境で長く使い続けられるべきである。トイレの洋式化、乾式化、多目的トイレの整備の状況について伺う。

教育長 小中学校の洋式化は44・7%となっている。まずは50%まで整備を継続したい。乾式化トイレは、掃除の手数がかからず清潔であり、少しずつ整備していきたい。多目的トイレは、必要としている児童生徒がいる場合には整備する。大規模改修などと併せて考えていきたい。

子育て世代支援の今後

質問 出産や子育てに不安を抱える女性が多い。妊娠期、出産、子育て期を通じて、地域の関係機関が連携し、切れ目のない支援を提供する「子育て世代包括支援センター」の構想について伺う。

市長 このセンターの機能としては、妊産婦及び乳幼児の



胆沢中学校の乾式トイレ（個室は洋式）



たかほし まさいち 高橋 政一 議員(奥州みらい)

実情把握や各種相談における助言、保健指導のほか、支援プランの作成や保健、医療、福祉等の関係機関とのネットワークが挙げられる。今年度から、出産後おおむね4カ月までの母子を対象に「産後ケア事業」に取り組むこととしている。センターは平成32年4月開設を目指している。

奥州・北上・金ケ崎・西和賀 定住ビジョンは

質問 人口減少と急速な少子高齢化により住民税等の税収が減少し、地方財政はひっ迫しており、今後、現自治体が行政機能を確保することが困難になると予想される。平成27年に奥州市、北上市、金ケ崎町、西和賀町の4市町で定住自立圏共生ビジョンが締結されたが、取組内容と成果は。

市長 ビジョンは31年までの5年間で、生活機能、結び付きやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化の3つの柱で構成されており、39の具体的事業を計画している。これまでに消防団の合同研修や消費生活相談員の交流事業に取り組んでいるほか、移住定住フェアへの合同出展による交流促進職員の合同研修による人材育成なども実施している。今年度は、圏域小中学生の博物館や記念館などの入場無料化により、相互利用を促進していく。多くの課題があるが、今後次期ビジョンも策定に向け取り組んでいく。

遊休資産の活用は

質問 使用されなくなった土地、建物が増加傾向にある。少子化により児童

生徒が減少し、多くの廃校が発生しており、その施設の有効活用に積極的に取り組むべきである。
市長 老朽化に係る修繕費、多額の維持費の問題もあり、今後検討していく。



活用が待たれる旧校舎



おのの しょう 小野寺 重 議員(奥州みらい)